




ときわ会の四季 春号

(No.76)



●写真：弘前桜林公園	…………… P 1	●新任医師ごあいさつ	外科 佐藤 浩一 …………… P 3
●院長のご挨拶	院長 永山 淳造 …………… P 2	●面会制限の緩和について お知らせ	ときわ会病院 感染対策専任看護師 高谷 幸和 …………… P 4
●マイナンバー保険証について	…………… P 2・3		

 医療法人ときわ会の理念
ときわ（永遠）の愛

「ときわの愛」とは職員一人一人がそして法人全体が、利用者の求める心の安らぎと身体の健やかさを心から手伝えることです。

理念実践のための3S（信頼・職員・施設）

1 信頼の確立

- 1.1 各職員が利用者第一主義を徹底します。
- 1.2 自治体・関係施設・組織との連携を推進します。
- 1.3 地域住民の保健から緩和医療までの包括ケア体制の向上を目指します。

2 職員の資質の向上

- 2.1 職員各人が心身の健康管理を徹底します。
- 2.2 情報開示（説明・同意・応需・安全・守秘・非差別など）を推進します。
- 2.3 医療関連職員として職務遂行能力の向上を目指します。

3 施設設備の高度充実化

- 3.1 職員各人が経営基盤の安定化を徹底します。
- 3.2 法人施設相互の連携を推進します。
- 3.3 施設特性を発揮する設備の向上を目指します。

患者様の「権利」と「ご協力」のお願い

ときわ会病院は安全な医療と快適な療養生活をお送り頂くために、患者様に以下の権利をお約束します。またご病気の一日も早い回復のために以下のご協力もよろしくお願い申し上げます。

権 利

- 1 病気や健康に対して十分な情報・説明・教育を受ける。
- 2 十分に説明された検査や治療方法を、自分で選び決める。
- 3 自分が納得する計画的チーム医療・看護・介護を公平に受ける。
- 4 自己の尊厳とプライバシーが守られる。
- 5 上記の権利を得られない場合は、病院などに苦情を申し立てる。

ご協力(義務)のお願い

- 1 病気を治すのは患者様ご自身の責任であり、ご自身の心と体の力です。病院の仕事は患者様自身が病気を治すことへのお手伝いであることをご理解ください。
- 2 一日でも早い心身のご回復を目指し、患者様ご自身も病院職員と共にチーム医療・看護・介護に参加する義務があることをご理解ください。

＝ 院長のご挨拶 ＝

新しいときわ会病院の外来診療体制変更について

院長 永山 淳造

新型コロナウイルスもだいぶ落ち着いて、5月からはインフルエンザと同様に扱うようになるなど、コロナ禍前の生活が少しずつ戻りつつあり、少しずつ何かが変わる気配を感じる令和5年度のスタート。私たちときわ会病院も、昨年度後半から外来診療体制が変わりつつあります。少なからず戸惑っている利用者の方々も多いと思いますので、今回は新体制のご紹介をさせていただきます。

医師の体制で令和4年度以降の大きな変更点は外科に佐藤浩一先生を迎えたことです。旧弘前市立病院で下肢静脈瘤やヘルニアを専門に活躍されていらっしゃいました。また、佐藤先生の着任を機に、永山淳造が外科外来から内科外来へ変更となっています。もともと内視鏡検査も行うなど消化器内科の側面も持ち合わせておりましたので、これからは主に内科医として皆様のお役に立てればと思っております。

更に、弘前大学から脳神経内科・循環器内科・リハビリテーション科の先生方の応援をいただき、さらに充実した外来診療体制を構築できました。心臓の超音波検査なども行えるようになり、それぞれの専門知識を生かして、診断と治療の質が向上することが期待されます。

また、午前外来に於いて時間予約制を順次導入しております。これは、今まで皆様にご不便をおかけしていた外来の待ち時間を少しでも短縮するための取り組みです。午前中を①8時50分～②9時50分～③10時50分～と3枠に分けて予約を取ることができます。基本的に予約時間からの診察となりますので、早く病院にいらっしゃっても、予約時間になるまで診察が始まることは原則としてありません。予約時間の枠内までに受付していただければ、原則としてその時間枠内で診察ができるよう心掛けております。もちろん、混雑する先生の外来もあり、皆様その時間枠に収まると言う訳にはまいりませんが、何時間も前に受付をして順番を取る必要はなくなります。

新しい先生方が加わったことで、これからのときわ会病院は、今までにも増してきめ細やかで確かな医療を提供してまいります。そして患者様・利用者様には時間予約を上手に活用していただき、外来待ち時間を今までより少しでも短縮できればと思っております。

各専門分野の先生方のお力を借りながら、より一層地域の皆様の健やかな生活のお手伝いができるように、またこれまで以上に利用しやすい病院であるように、これからも努力してまいります。

マイナンバー保険証について

2023年4月から新たに、マイナンバーカードを保険証として利用できるようになりました。マイナンバーカードを保険証として利用した時に変わる事などをお伝えします。

1. マイナンバーカードの保険証利用

マイナンバーカードを作っていないと保険証と連携する事ができません。

マイナンバーカードを作成して所定の手続きを行い、カードに保険証の登録を行う事でマイナンバーカードを保険証として利用する事ができます。

2. 利用方法

来院した際に、保険証の登録が済んでいるマイナンバーカードを提出していただきます。顔認証付きカードリーダーに入れ、顔認証か暗証番号を入力すると受付が完了します。その際に「特定健診情報や薬剤情報の提供を同意しますか？」との質問があります。当院では受付時に同意されたかどうか確認させていただきます。

新任医師ごあいさつ

外科 佐藤 浩一



私は北海道で生まれ、育ったところは岩手県の南部にある古城村（現奥州市）で、岩手の穀倉地帯といわれる胆沢平野の中央に位置しています。私の実家も江戸時代から続いている自作農家で、両親が教師の長男として育ち、先祖代々の土地を守る立場でしたが、役割を果たせなかったことに少しだけ後悔の念を感じている今日この頃です。昭和20年代から30年代にかけては公害などという言葉はあったにしても、無縁であったのどかな環境の時代であり、私は18才までこのような里で育ったのでした。

1966年4月、弘前大学に入学。医学生時代はバスケットにのめりこみ勉学にはそれほど熱心ではありませんでしたが、1967年12月南アフリカのバーナードによる心臓移植、1968年札幌医大の和田教授による心臓移植のニュースに触れて臓器移植に関心を抱くようになりました。臨床実習の際に第一外科で腎臓移植の臨床研究を行っていることを知り、1972年移植外科医を志して第一外科へ大学院生として入局しました。腎移植の急性拒絶反応の研究で学位を取得、その後は腎移植の臨床を中心にして大学で研究生生活を続けていました。

1979年教授の交替により移植の研究はできなくなり、1981年弘前市立病院へ赴任、消化器外科の臨床を続け、いろいろな手術を経験できました。その中で新しく立ち上げた手術手技は多くありますが、消化管の器械吻合、腹腔鏡下手術、下肢静脈瘤硬化療法は血管内焼灼法へと発展して、今ではスタンダードな方法として普及しています。

弘前市立病院を定年となっても下肢静脈瘤の手術を約束していた方が30人程いましたので、市立病院の近くの弘前メディカルセンターで手術を行うことにしました。8年間で320例の下肢静脈瘤手術を施行させていただきました。

今回は縁あって、知り合いの永山淳造院長のお誘いもあり、昨年11月から当院で診療させていただいています。整形の永橋先生とは学生時代のバスケット仲間です。決して若くない年齢となりましたが、残っている力を使い切る覚悟で当院の発展のために努力する所存ですのでよろしく願いいたします。

3. マイナンバーカードの利用のメリット

お薬手帳を忘れても、同意いただいていると内服薬の確認を行うことができ、**重複してお薬を出すことを防いだり、飲み合わせを考慮する事が可能**となります。

※マイナンバーカードは、受診ごとに毎回必ずご持参ください。

厚生労働省やデジタル庁の指示により、毎回お持ちいただき、マイナンバー受付をしていただくことになっております。

※健康保険証以外の下記の医療証は必ずご持参ください。

- 例 子供医療費受給者証
- ひとり親医療費受給者証
- 特定医療費（指定難病）受給者証

など、マイナンバーカードでの確認ができないものも一部ありますのでお持ちください。また、マイナンバーカードも有効期限切れや破損などで利用できない場合がありますので引き続き健康保険証もお持ちください。

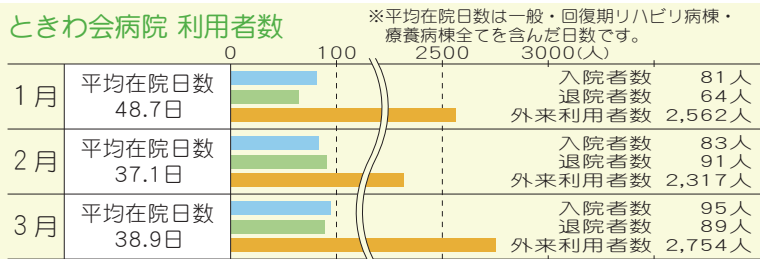
面会制限の緩和について お知らせ

ときわ会病院 感染対策専任看護師 高谷 幸和

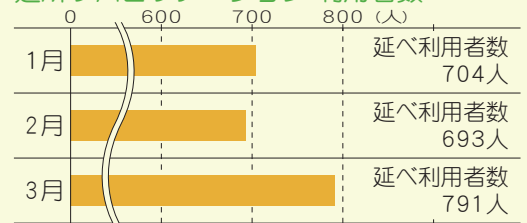
日本で新型コロナウイルスが令和2年1月に第1例として発生し、当院では同年の4月15日より原則として全ての面会が禁止になりました。ご存知の通り、それから新型コロナウイルスは猛威を振るい、終わりが見えない面会制限は続きました。それから約2か月後に、当院では地域の施設でもいち早く、ビデオ通話（オンライン）による面会を始めました。ビデオ面会のシステムを確立するまでには、関係各所のスタッフの協力体制が必要不可欠でした。入院患者様やご家族の会えない痛みや苦しみに寄り添いたい、少しでもお役に立ちたいと、スタッフ一丸となって取り組んだことが昨日のこのように思い出されます。そして、面会制限を始めてから約3年の月日が経ち、事前に予約が必要であることや面会時間や人数が限られていることなどの条件付きではありますが（詳しくは当院のHP、あるいは各病棟へのお問い合わせでご確認ください）、ようやく4月10日から対面での面会が再開できることになりました。今後も患者様やご家族のご希望に添えるよう、順次条件を緩和していきたいと考えておりますので、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

医療法人ときわ会病院 各施設の利用状況

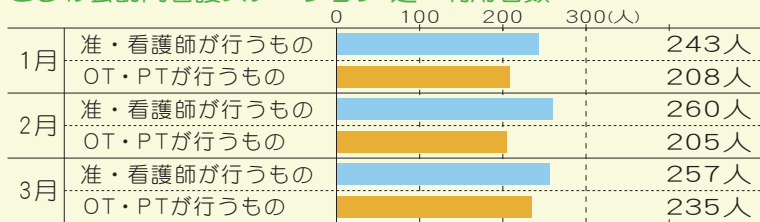
ときわ会病院 利用者数



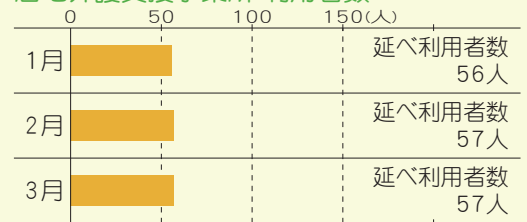
通所リハビリテーション 利用者数



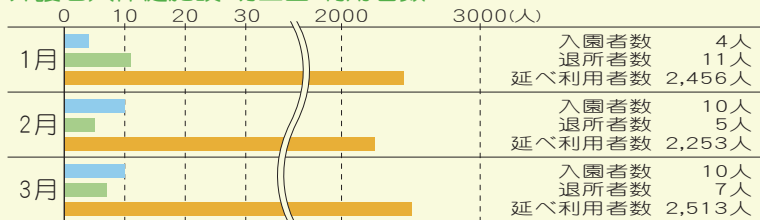
ときわ会訪問看護ステーション 延べ利用者数



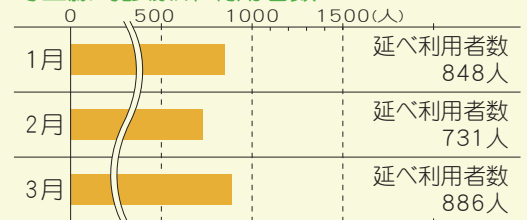
居宅介護支援事業所 利用者数



介護老人保健施設 明生園 利用者数



町立藤崎診療所 利用者数



編集後記



岩木川河川敷の雪捨て場では、桜祭りに間に合わせるためかこの一か月ほど毎朝、ブルドーザーが雪山に切り込み凹凸をつけて雪を溶かしていました。真っ黒くなった雪塊に雨が降ると、まるでほかの惑星に来たようです。今年はその雪塊と競うように桜が咲き始めましたね。昨日我が家のカタツムリもついに冬眠から覚めました。5か月半、生きていたのか心配していたのでとても嬉しいです。今年を彼を山に返してあげようと思っています。皆様にとって良き春でありますように。 峯岸 晶子